

国公立高等学校

調査回答学校数:166校

1 平成21年度の学校図書館の利用状況等について

1-1

貸出冊数について

把握している	89%
把握していない	10%
無回答	0%
無効回答	1%

1-2

課業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	96%
平日(毎日以外)	4%
土曜日	0%
日曜日	0%
無回答	0%
無効回答	0%

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	0%
2日	13%
3日	13%
4日	50%
その他	25%

②開館時間(複数回答可)

全日	37%
始業前	6%
昼休み	59%
休み時間	11%
放課後	54%
★その他	4%
無回答	0%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

・スクーリング開講の
時間帯

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	24%
20~39人	39%
40~59人	24%
60~79人	7%
80~99人	2%
100人以上	3%
無回答	0%
無効回答	2%

1-3

長期休業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	17%
平日(毎日以外)	16%
土曜日	0%
日曜日	1%
★その他	64%
無回答	0%
無効回答	5%

★ その他(抜粋)

・補習日
・進路指導日
・学校登校日
・7月末まで

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	11%
2日	19%
3日	44%
4日	11%
その他	15%

②開館時間(複数回答可)

全日	37%
午前	23%
午後	6%
★その他	22%
無回答	0%
無効回答	15%

★ その他(抜粋)

・9時~15時
・10時~14時
・7月午前、8月午後

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	66%
20~39人	18%
40~59人	6%
60~79人	1%
80~99人	2%
100人以上	1%
無回答	0%
無効回答	9%

国公立高等学校

1-(4)
貸出方法

コンピュータ処理	48%
図書カード利用	31%
コンピュータ処理と図書カード利用を併用	14%
その他	4%
無回答	2%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・貸出ノート
- ・袋状の貸出券にブックカードを入れる方式

1-(5)
学校図書館の
コンピュータについて
(国立・市立高校のみ)

ある	93%
ない	7%
無回答	0%
無効回答	0%

コンピュータの保有台数

1台	13%
2台	13%
3台	13%
4台	13%
5~10台	0%
11台以上	0%
その他	50%

コンピュータの使用方法
(複数回答可)

本の検索(自校)	66%
本の予約(自校)	32%
本の貸出・返却(自校)	59%
本の検索(他の図書館等)	45%
ホームページ等の閲覧	82%
CD-ROM等の閲覧	12%
メールの受発信	36%
その他	19%
無回答	1%
無効回答	1%

★

★ その他(抜粋)

- ・書籍情報の検索
- ・図書館便り作成
- ・書籍情報の蓄積
- ・レポートや課題の作成

1-(6)
選書の方法について

①過去3年間の購入冊数

H19年度	75456
H19年度平均	454.6
H20年度	73237
H20年度平均	441.2
H21年度	70427
H21年度平均	424.3

②図書選定の際
参考とするもの(3つまで回答可)

児童生徒のリクエスト	94%
教職員のリクエスト	92%
書評誌	48%
新聞書評・広告	67%
出版店・取次店の目録	43%
インターネット上の情報	57%
公立図書館の選定リスト	14%
その他	21%
無回答	0%
無効回答	4%

★

★ その他(抜粋)

- ・書店の展示会
- ・全国学校図書館協議会の資料
- ・研究会地区会での推薦本
- ・学校図書図書整備協会選書図書

③選定方法

担当教職員	55%
選定委員会等(教職員のみ)	20%
選定委員会等(児童生徒のみ)	3%
図書委員会等(児童生徒のみ)	0%
その他	8%
無回答	0%
無効回答	14%

★

★ その他(抜粋)

- ・図書文化部部員の教職員
- ・司書
- ・教務部

国公立高等学校

1-(7)

学校図書館の利用状況について

①3年前との比較

進んでいる	36%
進んでいない	18%
変わらない	44%
無回答	2%
無効回答	0%

②進んでいる点(複数回答可)

貸出冊数	69%
利用人数	72%
授業での利用	34%
その他	16%
無回答	0%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

- ・保護者の利用
- ・図書委員会活動
- ・図書館利用のスキルの向上
- ・蔵書のデータベース化

③学校図書館が活性化するとと思われる改善方策について(2つまで回答可)

選書の改善	61%
施設の魅力の向上	42%
啓発の推進	30%
読書計画の立案及び実施	24%
公立図書館との連携	2%
ボランティアとの連携	1%
その他	10%
無回答	0%
無効回答	5%

★ その他(抜粋)

- ・図書費の増額
- ・専任司書教諭を配置すること
- ・教職員に対して図書館資料を使用した授業の提案すること

2 学校図書館を担当する教職員について(府立高校)

2-(1)

担当する教職員の人数

1人	24%
2人	9%
3人	11%
4人	7%
5人	9%
6人~10人	33%
11人以上	4%
その他回答	2%

2-(2)

学校図書館を担当する教職員がいる1日あたりの時間数

2時間未満	10%
2時間以上4時間未満	23%
4時間以上6時間未満	12%
6時間以上7時間未満	2%
7時間以上8時間以下	39%
その他回答	15%

2-(3)

教職員の仕事内容(複数回答可)

環境整備	1%
貸出・返却	92%
受入及び配備	96%
購入する本の選択	89%
本の展示	93%
レファレンスサービス	77%
読み聞かせ	68%
ブックトーク	1%
図書館便りの発行	6%
図書委員会の指導	74%
図書館等との連絡・調整	82%
その他	32%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

- ・オリエンテーション
- ・統計処理
- ・図書館行事
- ・ブログの作成

2 学校図書館を担当職員について

(国立・市立高校)

2-(1)

教諭以外の担当職員について

いる	93%
いない	7%
無回答	0%
無効回答	0%

2-(2)

どのような職員か

学校図書館司書	18%
図書整理員(有償)	4%
その他	75%
無効回答	4%

★ その他(抜粋)

- ・図書館嘱託職員
- ・臨時職員

2-(3)

職員勤務日数等

日数	
1日	0%
2日	0%
3日	4%
4日	25%
5日	71%
その他回答	0%

1日の時間数

2時間未満	0%
2時間以上4時間未満	0%
4時間以上6時間未満	0%
6時間以上7時間未満	36%
7時間以上8時間以下	57%
その他回答	7%

国公立高等学校

3 公立図書館との連携について

3-1)

連携内容について(複数回答可)

団体貸出	16%
図書配送システム	2%
移動図書館	0%
担当者連絡会	7%
連携学習会	7%
司書の派遣	1%
図書館見学	4%
その他	5%
全く行っていない	67%
無回答	0%
無効回答	4%

★ その他(抜粋)

- ・新着図書の紹介
- ・リクエスト本の貸出
- ・語りの会の講習会

2-(4) 職員の仕事内容(複数回答可)

環境整備	0%
貸出・返却	93%
受入及び配備	96%
購入する本の選択	100%
本の展示	96%
レファレンスサービス	93%
読み聞かせ	82%
ブックトーク	0%
図書館便りの発行	11%
図書委員会の指導	82%
図書館等との連絡・調整	54%
その他	25%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

- ・蔵書のデータベース化
- ・各図カードの整理点検
- ・蔵書点検

●公立図書館との連携内容ごとの年間実施回数

団体貸出

1回	5校
2回	1校
3回	2校
4回か5回	6校
6回以上10回以下	3校
11回以上20回以下	3校
21回以上50回以下	1校
51回以上	0校

図書配送システム

1回	0校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	1校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

担当者連絡会

1回	8校
2回	0校
3回	1校
4回か5回	2校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

連携学習会

1回	6校
2回	1校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

図書館見学

1回	4校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

司書の派遣

記述なし

3-(2)

今後望む連携内容(3つまで回答可)

団体貸出	33%
図書配送システム	46%
移動図書館	7%
担当者連絡会	5%
連携学習会	17%
司書の派遣	10%
図書館見学	11%
その他	9%
無回答	10%
無効回答	10%

★ その他(抜粋)

- ・公立図書館での高校生のボランティア活動
- ・府立中央図書館の資料を市立図書館を通しての利用

国公立高等学校

4 学校での読書活動について

4-1)

授業で学校図書館を活用する
1クラスあたりの時間数(月平均)

0~3h	88%
4h~8h	5%
9h~12h	2%
12h以上	1%
無回答	1%
無効回答	3%

4-2)

学校図書館を活用した授業の
年間計画について

作成している	25%
作成していない	72%
無回答	0%
無効回答	3%

5 読書活動に関わるボランティアについて

5-1)

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行う
ボランティアについて

いる	2%
いない	96%
無回答	2%
無効回答	0%

◆府立・国立高校
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

保護者等PTAの方々	0%
地域の読書グループ	67%
連携先の大学生	0%
その他	33%
無回答	0%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

・「読書ボランティア養成
講座」受講者

◆市立高校
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

学校支援ボランティア	0校
保護者等PTAの方々	0校
地域の読書グループ	0校
その他	1校
無回答	0校
無効回答	0校

★ その他(抜粋)

・福祉協議会のボラン
ティアの人達

●読書活動に関わるボランティアごとの
年間実施日数

地域の読書グループ	
1日	0校
2日	1校
3日	1校
4日か5日	0校
6日以上10日以下	0校
11日以上20日以下	0校
21日以上50日以下	0校
51日以上	0校

5-2)

学校図書館の運営に協力する
ボランティアについて

いる	2%
いない	96%
無回答	2%
無効回答	0%

◆府立・国立高校
①ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

保護者等PTAの方々	13%
地域の読書グループ	13%
連携先の大学生	13%
その他	63%
無回答	0%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

・「読書ボランティア養成
講座」受講者

◆市立高校
①ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

学校支援ボランティア	0校
保護者等PTAの方々	0校
地域の読書グループ	0校
その他	1校
無回答	0校
無効回答	0校

★ その他(抜粋)

・図書委員以外の
生徒

②活動内容

図書館の環境整備	13%
貸出・返却整備	25%
本の展示	13%
本の受入と配備	13%
読書相談の対応	13%
読み聞かせ	13%
ブックトーク	0%
図書館便りの発行	13%
その他	13%
無回答	0%
無効回答	25%

★ その他(抜粋)

・職員会議のない放課後の
図書館の開閉

自由記述(抜粋)

2-(5) 学校図書館担当職員の配置による効果と課題

- ・学校図書館の専任職員であるため、図書館の仕事のみに集中して取り組んでもらえており、図書館の業務が良くなるかどっている。業務量、業務内容が多岐に亘るため時間的な余裕がなく負担を多くかけている。
- ・公共図書館との連携がとりやすい。
- ・司書という職業について生徒の理解が深まる。
- ・職員が常時、図書室にいることによって、授業時間で図書室を使った調べ学習など幅広い授業ができる。図書室の蔵書はコンピュータ化していないので、調べる時間が多少かかるのが今後の課題である。
- ・全日閉館をしているので、自由に図書館が利用できる。(新刊図書の購入と整理を早くして、貸出をスムーズにすることで貸出冊数の増加に努めている。) 常駐者が司書一人のため、出張や年休時は閉館となるのが難点です。

3-(3) 公立図書館との連携による効果と連携を進めるための課題

- ・レファレンスをお願いするときに、「自分で調べてほしい」とことわられるようでは利用しにくい。団体貸出での相談も気楽にいつでもお願いしたいし、的確な選書や情報をいただきたい。有資格者であっても、担当者が毎年のように変わったり、人によって方法がさまざまだったりするのは困る。
- ・学校図書館の少ない予算では購入できない本をお借りできるので、多くの冊数が必要な調べ学習などに大変役立つ。年一回、公共図書館の司書の方々と交流会をしているので、連携がスムーズである。
- ・公立図書館とは全く行っていませんが、今後の課題として、更なる図書館の活性化・魅力向上の為に学習会があれば参加し、積極的に情報収集したいと思う。
- ・高校の図書館の限られたスペースや開室時間をおぎなうものとして、公立図書館を考えたいが、それぞれ果している役割が異なる中で連携は難しいと思う。
- ・府立・市立図書館(中央)から貸出してもらうのに時間と労力がかかる。電子メールなどを活用してスピーディにやりとりを行いたい。
- ・図書の予算の問題もあり、公立図書館との連携は魅力的だと思うが、公立図書館では新着図書に人気が集まり予約者多数でなかなかタイムリーに貸してもらえないとか、どのような方法で図書を受け渡しするかとか、考えないといけない問題があると思う。こちらから図書を受け取り、返却へ行くのはなかなか時間的に厳しいし、万が一の紛失の場合等が心配であったりする。
- ・調べ学習等で、学校図書館にはない種類と冊数の本が公共図書館に揃っているのに役に立っています。出来れば校内PCによる蔵書の横断検索を実現していただきたい。
- ・地域の子ども、生徒への図書利用指導を、公共図書館司書がもっと積極的に担い、学校の実態を調査し、学校就業後の利用を促進させるようにする方向に。
- ・小・中・高と学校図書館の運営や利用方法も違うので、公立図書館の対応も一律ではなく各々に適した対応を検討してほしい。公立図書館の利用方法やレファレンスについて生徒をはじめ教職員に説明をする機会があれば、図書館連携の効果がより望めるのではないかと。

国公立高等学校

4-(2) 学校図書館を活用した授業の年間計画を作成していない理由

- ・図書館利用は教科ごとにそのつど依頼があり年間30-50時間なので、調整の必要もなく、その都度応じることができているため。
- ・学校図書館を利用した授業は事前に図書館に連絡を頂くことで回っているから。
- ・図書館オリエンテーション、読書感想文作成時の選書作業などの国語の授業またホームルームの一部を使った授業以外に、年間を通して図書館を利用する授業が殆どないためである。
- ・教科が必要になったときに利用するので、明確な年間計画は存在していない。

4-(3) 「朝の読書」など一斉読書以外の特色ある取組み及びその効果

- ・文化の日の前後に設定されている、「読書週間」にブックトークを行っている。それ以降の日より、貸出冊数が増加している。
- ・待っている図書館ではなく、開かれた図書館をめざして、昼休みを利用して学年フロアでの開架図書を行っている。その結果、本に興味のなかった生徒達も、本を身近に感じ関心を持つようになった。
- ・生徒が絵本の読み聞かせを行うことをとおして、コミュニケーションによる表現力がアップしている。
- ・総合的な学習の時間の講座の1つとして「読書をしよう」を設定しているが、受講生へのアンケート結果等から、本への関心が高まり、読書習慣も、身につけていると考えられる。

4-(4) 生徒の図書委員会などの活動内容

- ・貸出返却、本の整理、本の紹介、図書館便りの発行、書架への返却・配架、おすすめ本の紹介、館内の飾りつけ活動、本のカバーかけ、新入生に対する図書館オリエンテーションの実施、生徒の購入希望図書の募集と選定、ポップコーナづくり、オーサービジットの取組み、図書紹介ブログ作成、清掃、約80人の生徒が選書、カウンター当番、広報、調査統計の各業務を分担して担当。

5-(3) 読書活動に関わるボランティアがいることの効果と連携を進めるうえでの課題

- ・読み聞かせ等で、子どもの心をつかめるボランティアの方かつ、お休み等に「おはなし会」をしていただくことができれば、生徒達はもっと図書館に集まるのではないかと期待される。
- ・運営に協力するボランティアの他校での運用事例を教えていただきたい(本校でも検討したいので)。
- ・よみかせ、おはなし会などは高校生であっても生徒は喜ぶと思うし、将来保育士や介護などの仕事を希望している生徒の勉強にもなってよいと思うが、本校にはボランティアをうけ入れる余裕がない。
- ・学校には個人情報が多くある。(家庭環境、病歴、成績など)ボランティアで外部の人が入ることによって、そうした個人情報は守られるのか不安がある。また、読書活動は本のことだけでなく、自校の生徒のことをよく知っているからこそできるもの。(どんなことを授業で習っているのか、興味関心がどこにあるのか等)それを外部のボランティアの人に求めるのは無理があると思う。
- ・現在のところ図書委員を中心に生徒の協力を得て、十分に指導効果もあがっており、外部のボランティアを必要とはしていない。
- ・生徒たちが語りの会の人たちから講習を受け、保育園で実習を行い、生徒たちは自信をつけた。

国公立高等学校

6 お尋ねした項目以外に特色ある取組み及びその効果

- ・家庭科で創作絵本をつくる授業があり、図書館でも、公共図書館や他の高校図書館より団体貸出で資料を準備し授業支援を行った。このこともあり、夏休みに「創作絵本」の展示を図書室で行う。期間中には国民読書年にちなんで、中学生とその保護者、中学校の教員、図書館関係者を対象にした「図書館見学会」を行う。高校図書館のおもしろさを体験してもらうとともに、将来の受験校選択に役立ててほしいと思う。
- ・今年度より「読書ボランティア養成講座」を開講(6月～7月、毎土曜日、1回につき2時間、4回シリーズ)今後受講生が本校の図書館運営に関わって頂くことなど、内容も含めて検討していく予定。
- ・子育てサポートルームの職員や利用者へ図書館を開放している。懇談等で、学校に来られた保護者へ開放して貸出しており保護者には喜ばれている。
- ・大阪府立中央図書館主催の「POP大賞」に学校をあげて応募した(教科と連携)。作品返却後、図書館に展示し、読書入門のよいツールとなっている。
- ・「ふれあいLibrary」の設置 学校の3ヶ所に寄贈本のうち、複本にあたる本を展示し、活用を促している。それらの本は自由に借りることができる。
- ・ブックトークを学年毎に行い、前もって選んだテーマに沿ったおすすめ本を紹介し合っている。毎学期末に、それらを図書館便りに掲載し、全校生徒に配布している。生徒と教員間の和も広がり、なかなか好評である。
- ・読書会を開催し、生徒へ読書の楽しさや大切さについて啓発している。図書委員会が文化祭で「古本市(教員等が不要となった書籍を提供する)」を開催している。

7 学校図書館の運営について、困っていることや悩み

- ・司書が教科との兼務になり、部員全員で閉館には支障がない様、当番を決めているが、皆忙しい為、スムーズな開館ができない事も、他の司書業務(選書から登録、装備、配架)ができる者がいない為、仕事が滞る。ボランティアでまかなったとしても、専任で、一連の取組みが可能な者でないと、利用者の要求に答えられないと考える。
- ・図書館運営は努力すればするほど、仕事量がふえ限られた人材で苦しい状況にある。閉館時間を短くすればすむ問題ではあるが、活性化を考えると開館時間は確保すべきで、悩ましい問題である。
- ・本校には学校司書がいないので、ほぼすべての業務を教諭で運営しているが、授業や他の分掌業務等のため多忙で、選書や資料整備の時間がなかなかとれない状況にある。昼休みと放課後に開館するのが精一杯で、その他の業務に取組む余裕がない。また、年度ごとに担当者が替わるので、長期的ビジョンに基づいた資料構築ができない。今年度はたまたま、担当者が司書と司書教諭の資格保持者だったので、ある程度は専門的知識を有していたが、継続して専門的知識や技術を有する者が担当になるとは限らず、次年度以降もきちんと運営していけるかどうか不安である。
- ・図書室の位置が悪く利用しにくい。この部屋を拠点として教員が常駐することも、授業へ行ったり、授業で移動に手間がかかり利用しにくい。中長期的に図書室の配置換えが必要と思われる。
- ・情報が年々変化する中、蔵書(古本)の廃棄に悩みがある。